

### 3 交通事業会計

#### 〔概要〕

平成 28 年度の交通事業の運営については、「宇部市公共交通網形成計画」に沿った路線再編を進めるとともに、運行の安全性の確保及びバス利用者の利便性とサービスの向上を図るため、車両及び車載設備等の更新、バス待合施設の整備を実施しました。

また、経営改善策として、正規職員に対する給料の特例的カットを実施する一方、経営の安定化に向け、運転士をはじめとした嘱託職員の待遇改善を実施しました。

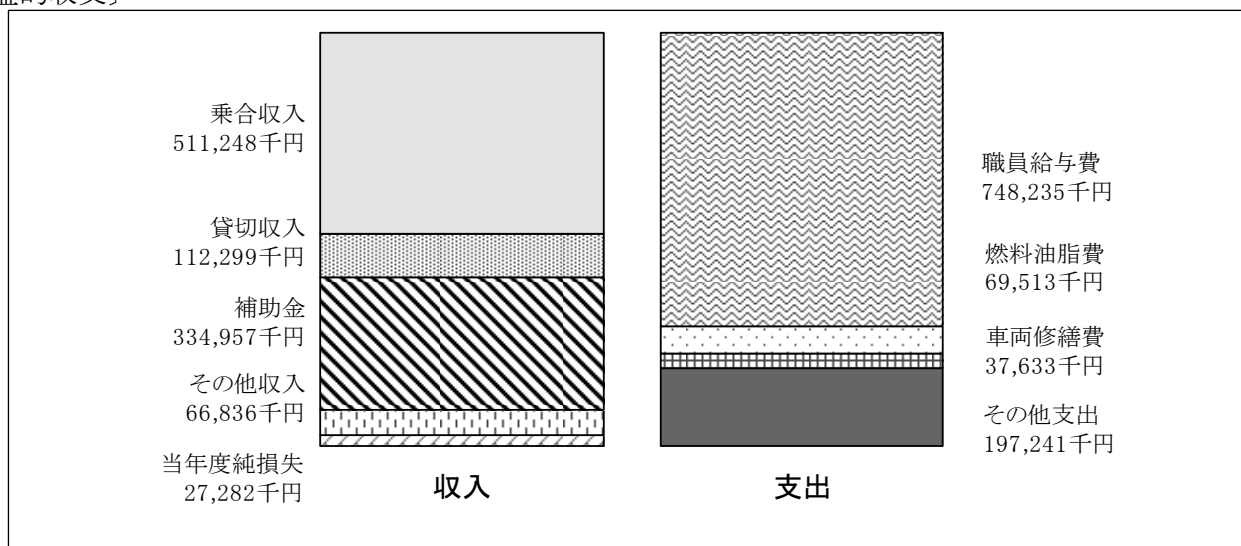
業務量については、乗合事業では、稼働バス台数は 20,750 台(前年度比 96.1%)、走行キロ数は 3,163 千km(前年度比 94.9%)、輸送人員は 2,441 千人(前年度比 97.6%)となりました。

一方、貸切事業では、稼働バス台数は 1,634 台(前年度比 84.0%)、走行キロ数は 238 千km(前年度比 81.3%)、輸送人員は 56 千人(前年度比 76.4%)となりました。

経営成績については、事業収益は 1,025,340 千円に、事業費用は 1,052,622 千円となり、収支差引の結果、当年度純損失は 27,282 千円に、また、当年度末処分利益剰余金は 36,849 千円となりました。

資本的収支については、収入は、企業債等で 34,269 千円、支出は、中型路線バス 2 台の新車購入費用及び企業債償還金等で 97,988 千円となり、差引不足額 63,719 千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 3,985 千円及び過年度分損益勘定留保資金 59,734 千円で補てんしました。

#### 〔収益的収支〕



#### 〔資本的収支〕

